



伊豆市

# 議会だより

No.2

発行：伊豆市議会 編集：議会報編集特別委員会  
〒410-3292 静岡県伊豆市市山550 TEL 0558-85-2606

2004.11.1発行



グリーン・ツーリズムで稲刈り体験をする東京都和光小学校の子どもたち(中伊豆地区)

## 目次

9月定例会の概要	2
市長行政報告	3
一般質問	4~15
行政視察・岩村町秋祭・編集後記	16

# 平成十五年度

## 旧四町の決算を認定

平成16年第2回市議会定例会は、9月7日から9月29日までの23日間の会期で開かれました。

今議会に提出された議案等は、旧四町の平成15年度一般会計・特別会計及び企業会計決算認定や、伊豆市議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正など市長提案57件、「地方分権推進のための国庫補助負担金改革案の実現を求める意見書」など議員提案3件が上程され、採決の結果、いずれも原案のとおり可決、認定、承認されました。

なお、決算認定には「伊豆市議会決算特別委員会の設置に関する決議」が初日に可決され、旧町ごとに決算特別委員会を設置し委員会審査を行いました。

8日、9日の2日間にわたり22人の議員から一般質問がありました。

### 主な補正予算と条例の提案理由

#### ●一般会計補正予算（第2回）

合併移行後の事業費の見直し、地区要望に対する整備を図るための諸事業、社会基盤整備の基金積み立てを行う補正。

#### ●公共用地取得事業特別会計

##### 補正予算（第2回）

柏久保の旧天城木材共同組合跡地及び修善寺大下の修善寺インター改良に伴う公園緑地用地の先行取得を行うための補正。

#### ●下水道事業特別会計

##### 補正予算（第1回）

修善寺地区で実施している公共下水道事業単独分の事業を実施するための補正。

#### ●湯の国会館事業特別会計

##### 補正予算（第1回）

湯の国会館におけるレジオネラ菌対策を実施するための補正。

#### ●昭和の森会館事業特別会計

##### 補正予算（第1回）

観光案内等ホームページの更新及び施設の耐震診断実施に伴う補正。

#### ●伊豆市議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

##### について

8月25日、伊豆市特別職報酬等審議会により、伊豆市議会議員の報酬の額について審議され、同規模自治体の財政力、人口及び特別職の職員の報酬などを参考にその答申がなされた。

これにより議長35万円、副議長29万円、常任委員会及び議会運営委員会の委員長27万円、議員26万円となり、この額が適当なものとし、平成16年11月1日からの議員の報酬の額とする条例の改正。

## 可決した意見書

下記の意見書を可決し、国の関係機関へ提出しました。

地方分権推進のための「国庫補助負担金改革案」の実現を求める意見書

「義務教育費国庫負担制度」の堅持を求める意見書

治山・治水事業の推進に関する意見書

# 大城市長 行政報告

まず米の生産調整については、今年度から新しい水田農業政策・米政策がスタートし、農業者等が主体となって水田農業ビジョンを策定し、地域の特性や資源を活かした水田農業を進めていくこととなっています。

また、従来の減反面積の配分から米の需要に応じた生産目標数量への配分になりました。

農業農村整備関係としては、8月4日に「伊豆大見の郷・季多楽」が正式オープンし、記念式典を開催しました。

この施設は中伊豆活性化構想に基づき、グリーン・ツーリズムの拠点的情報発信施設として建設され、今後、特産品の開発や加工体験などにも活用します。

観光関係では、7月1日に土肥の海開きが行われました。今年は天候に恵まれ、約15万人の海水浴客がありました。



季多楽（中伊豆活性化施設）

伊豆市全体の観光客の入り込み状況を見ると、浜名湖花博の影響もあり厳しい状況と聞いていますが、この夏は各地で多彩なイベント等が開催され、新市としてのアピールもなされてきているかと思えます。

温泉の不適切表示についてですが、お客様に安心して訪れていたけるよう、観光協会等を通じて

各施設にアンケート調査を行っているところですが、

次に、沼津市への夜間救急医療に関する委託についてですが、年間25人程の伊豆市民が受診をされています。

田方地域での救急医療の現状を見ますと、3次救急医療病院であります順天堂伊豆長岡病院において24時間体制での患者の受け入れをしていただいでいること。また、この10月からは田方医師会及び伊豆保健医療センターが核となり、田方地域の更なる救急医療体制の充実を目指している状況であります。

沼津市では、現沼津夜間救急医療センターの建物が老朽化し、新たな建設に向けて準備を進めていますが、建設予定地が遠距離となり利便性が悪くなること、財政負担増を考慮いたしますと、委託について、来年3月を持って終了もやむを得ないものと考えています。今後は、田方地域の救急医療体制の充実に向けた取り組みを推進していきたいと存じます。皆様のご理解をお願いいたします。

## 第3回臨時議会を開会

第3回臨時議会が8月16日に行われ、4議案を審議し、全て可決しました。

### ●一般会計補正予算(第1回)

土肥小学校体育館建設事業を平成16年、17年度の2カ年の継続事業とするため、事業費について17年度分の1億8、148万円を減額するものです。

### ●公共用地取得事業特別会計

補正予算(第1回)  
用地測量費及び不動産鑑定委託料の220万円を計上しました。

### ●工事請負契約の締結について

(中伊豆給食センター建設工事)  
指名競争入札の結果中豆建設(株)が落札し、3億5、700万円で購入しました。

### ●市道路線の変更について

天城北道路建設に伴う代替地確保のため、本立野市道一路線を変更しました。

# 一般質問

9月8日、9日の2日間に  
わたり、22人の議員から  
質問がありました。

鈴木庄一 議員

## 国民宿舎の今後の扱いは

質問

現在市内に3つの国民宿舎があり、木太刀荘は

森林と溪流、ふじみ荘は海、中伊豆荘は高原と、それぞれ特色を持っており、中伊豆荘については、現在、市からはなれ経営形態も異なるが、いずれも地域にとっては、重要な雇用の場となっている。今

後この3つの国民宿舎の扱いは。

長弁  
市答

これらの施設は、老朽化等による維持費の増大や経営の悪化等により、大変苦しい経営状況にあります。

今後の市営施設のあり方について、伊豆市施設運営委員会を10月中に組織編成し、将来に向けての国民宿舎の扱い等について意見を聞き、方向を決定していきたい。

## 不登校児童・生徒の対策は

質問

市内小中学校で十数名の不登校児童・生徒がいると聞いている。不登校の原因には、病気、いじめ、学業不振などがあると思うが、このような児童・生徒の指導状況と、今後の対策は。

長弁  
教育答

学校は、家庭との連絡や家庭訪問で児童生徒とのかかわりを保つよう努めている。今年度、中学校1校に県がスクールカウンセラーを1名配置、市で中学校4校に「心の教室相談員」を1名ずつ配置し、教育相談体制の充実を図っている。今後の対策は担任を孤立させることなく組織的に対応し、学校が不登校生徒・児童とかわり続ける姿勢を大切にするよう指導していきたい。

## 小中学校遠距離通学補助金制度は

質問

旧四町の小中学校それぞれに、補助対象基準、補助額算定方法が異なっているが、

長弁  
教育答

16年度中に調整統一するとの合併協定の方針に従い、現在素案作りから始めていますが、四町それぞれ算出方法が違い難しい状況です。

他市町村では小学生4km以上、中学生6km以上の者に補助金を出しているところが一番多いように思いますが、今後、通学距離、統一したときの実施学年の問題、補助率の割合など、教育委員の意見なども聞きながら、財政事情もからめて早急に詰めていきたい。



元気よく通学する大見小児童

勝呂 宗司 議員

## 海の玄関口整備計画 策定進捗状況について

**質問** 伊豆市の産業活性化を図る上で、海の玄関口の整備を早急に進める必要がある。

この整備計画に500万円の調査費がついている。今後どのような実施計画を進めるのか、基本計画策定のための方針は、いつどこまで進めるのですか。

**長弁 市答** 合併の建設計画の中に盛り込まれており、重要な事業であるが、多額の事業費がかかるため、市の単独事業としては負担が重く、現在県においての事業実施を要望しています。

そのための資料作りとして、調査費を設け、計画図及び整備構想(案)の策定業務をコンサルタン卜に依頼しており、今後、港湾審議会及び検討会等により事業計画の策定を進めていきます。



海の玄関口土肥カーフェリー  
(清水港と土肥間を65分で結びます)

鍵山 二 議員

## 地元要望について

**質問** 合併後早くも半年が過ぎが見えない。  
ぎょうとする、新市の動きが見えない。

財政事情もあり何かと広く目が届かないと思われる。いずれ実現を見たい。

沿岸漁業振興、漁港整備、簡易水道、八木沢小下田の一本化など、実行を急ぎたい。

**長弁 市答** 旧四町の基本構想を踏まえ作成された新市建設計画を尊重し、伊豆市総合計画並びに、伊豆市国土利用計画の策定に着手いたしました。

新市建設計画の内容を基本としながら、新たな検討を加え作成していきたいと考えます。

## 健康施設の活用等について

**質問** 温泉も厚生労働省認定の温泉利用型健康増進施設クワハウスで、伊豆市民の健康維持に役立てたいが。

温泉も厚生労働省認定の温泉利用型健康増進施設クワハウスで、伊豆市民の健康維持に役立てたいが。

**長弁 市答** 貴重な資源である温泉や自然を活用した温泉施設や医療施設における温泉療法等の先進的な取り組みとして温泉活用事業による市民の健康づくりを推進しているところです。

今後、ウエルネス産業との連携を図った取り組みをしていきたい。

## 温泉表示について

**質問** 温泉表示に問題はないか。県下一の温泉地伊豆であり、不当表示の実態調査を行い、安心安全な伊豆市の温泉場であることを宣言アピールしては。

温泉表示に問題はないか。県下一の温泉地伊豆であり、不当表示の実態調査を行い、安心安全な伊豆市の温泉場であることを宣言アピールしては。

**長弁 市答** 温泉の不当表示、偽装表示が大きく問題となっているところです。

当市におきましても、温泉を利用する施設が数多くありますことから、既に観光協会、旅館組合等を通じ調査を実施しているところです。近々その結果が出てくると思いますので、その結果により適切な対応をしていきたいと思えます。



温泉療養施設として期待される天城温泉会館

安藤 若夫 議員

### まちづくり、地域の 将来構想について

質問

昨年、旧天城湯ヶ島町で地域の将来構想が、各地区委員から発表されました。

伊豆市になり委員会は解散されておりませんが、市当局として、ひらがなのまちづくりの今後具体的な支援策はどのように行なうのか。

また、他の地域に反映して伊豆市の活性化につなげたら良いと思います。

長弁  
市答

旧天城湯ヶ島町のこの構想をもとに、ハード面では本年度より県営中山間地域総合整備事業として、農業生産基盤整備や生活環境基盤整備の各種事業にも着手しています。

この構想を地域住民の貴重なご意見として参考にさせていただき、地域の意向に沿った施策を推進してまいります。

### 介護保険事業の中で居宅 サービスの推進について

質問

急速に高齢化が進み、特養や老健の入所施設のベッド数に対し大勢の人達が入所待ちしているのが現状です。したがって居宅サービスは今後の介護保険事業の中で必要不可欠であり、それにかかわるホームヘルパーや介護師が必要となります。ホームヘルパーや介護師の養成計画について伺います。



運動指導（天城温泉会館）

長弁  
市答

旧修善寺町では平成12年度から訪問介護員養成講座を開催し、できるかぎり地域の福祉は地域で支えあうことのできる町づくりを推進してきました。

旧土肥町でも実施しており、伊豆市になっても引き続き実施いたします。

また、介護予防事業として転倒予防教室や運動指導事業を実施しており、今後も力を入れていきたい。

室野 英子 議員

### 福祉文教委員会の教育福祉 厚生施設視察後の要望が どのように改善されているのか

質問

福祉文教委員会では5月に2日間かけ市内の教育福祉厚生施設を視察し、緊急に改善を要する箇所を聞いた。3カ月たち、具体的にそれぞれの要望がどのように対処され、教育環境の整備がなされているのか伺いたい。

長弁  
教育  
市答

視察報告書には早急に対策を図るものとして6項目の要望と、市内教育施設の建設計画立案の要望が出されています。その中で現在改善したものは、修善寺東小学校のトイレの改修、

土肥中学校の通学路防護柵の設置の2項目です。今後学校と相談しながら検討していきたい。

教育施設の建て替えについては年間どの程度予算化できるか、市当局とも相談して長期的な建設計画を立てていきたいと考えています。

### 健康寿命をのばす 健康づくり施策を

質問

高齢化社会を迎え健康寿命をのばす施策が重要となっている。伊豆市でも温泉を活用した健康づくり教室が開かれているが、更に全市民に身近な所で健康づくりの場を設け、健康寿命をのばす積極的な施策を望む。

市民が元氣、まちなも元氣、自然も元氣で伊豆市の発展を願う。市長の所見を伺う。

長弁  
市答

住民基本健診、がん検診等の「二次予防事業」とともに、ヘルスアップ教室、骨粗しょう症予防教室、温泉を活用した転倒予防教室等の「一次予防事業」を重視した健康づくり施策

が重要となり、長期的に継続し、魅力ある事業の展開が必要になります。

「自らの健康は、自ら作るもの」という健康意識の高揚に努めてまいります。

鍵山 堅一 議員

### 市民に対するサービスの低下等について

質問

市になって各支所では窓口の表示が変わり、従って多くの部や課が本庁に統合され今までは違った配置となり、なれない職員が見受けられる。市民に対する対応、サービス等行き届いているか。

長弁  
市答

各支所での窓口業務の表示名は変更しましたが、位置は従前のままです。また、職員も経験のある者を配置し、市内在住者であれば各支所何処でも対応できるよう万全を期しましたが、これで十分ということはありません。ご指摘いただければその都度工夫をしていきたいと思えます。

### 市職員の配置は適切か

質問

市誕生後5カ月とまだ短い期間ですが、本庁の職員や各支所の職員等未知の人や、初めて経験する職務もあるうかと思うが、仕事の内容や対人関係も含めて適切な人員配置になっていると思われるかどうか伺います。

長弁  
市答

基本は旧四町の職員を各部署に満遍なく、また、その仕事に精通した者、合っている者等を勘案し配置をしました。しかし、一部の部署については4月から異常に忙しく、多忙を極めている課と、比較的そうでない課の両極端の面が見えてきております。今後の人員配置の上で考慮していかなければと思います。

### 国道136号線改良事業土肥新田地区の進捗状況と完成の見通しについて

質問

国道136号線の開通から70年、土肥新田工区、約1,400m未だ大型バスがすれ

違うこともできず救急車等もスムーズに走ることも困難です。現在の進捗状況について伺います。

長弁  
市答

この工区はトンネルにより計画されていましたが、近年再検討の必要に迫られ、安全性の向上と経済性の観点からトンネルを廃止し、新しいルートに変更されました。沼津土木事務



土肥新田付近

所によれば、今年度は新ルートに係る測量・調査等を実施し、詳細設計準備を進めると同時に、出来れば来年度下流側から事業に着手したいとの意向です。

飯田 宣夫 議員

### 伊豆市の土地利用について

質問

伊豆市になりました、旧修善寺町のみが都市計画法の指定範囲にありますが、今後どのような方向に進むのか。また、伊豆市としての土地利用の展望をお伺いします。

長弁  
市答

区域の見直しをどのように進めるか、広げて行くのか、従来のまま踏襲するのかは、これから時間をかけ広く意見を聴き決定する問題だと考えています。見直しを含む計画策定は、基礎調査を実施し、その結果を分析・評価しつつ進めるため、必要なデータが不足しており、本年度は補足的なデータの収集・整理を行っている段階です。

## 伊豆市のイントラ ネットについて

質問

この4月より運用されています伊豆市地域公共ネットワークは、どのような利用がなされているのか。さらに、今後どのような活用を考えているのか伺います。

長弁  
市答

各公共施設に光ファイバー網を張り巡らし、防災情報等をモニターで提供しています。

また、学校間・教育支援システムとして、テレビ映像と音声を



市内の図書蔵書検索システム導入を検討中

使った学校間交流事業を始めたいです。

今後の活用は、市内どの図書館でも他の図書館の蔵書検索と予約ができるシステムを検討中で、来年の4月に運用開始の予定です。また、住民参加型の「電子会議室」、「コミュニティづくり」なども検討していきたいと考えています。

## (仮称)スポーツ振興課の設置について

質問

昨年8月旧修善寺町のスポーツ振興委員から提

出された答申書及び現伊豆市体育協会からもその必要性と要望がなされていると思いますが、次年度からの設置は実現するのでしょうか。

長弁  
市答

現在教育委員会の生涯学習課の中に「スポーツ

係」が設けられております。スポーツ振興の上で大切な部署ではありますが、課への昇格は今後の全体組織構成を見ながら考え、検討していくことになろうかと思えます。

## ジェンダーフリーと教育について

質問

雇用機会均等法に基づき男女協働参画社会を実現するための議論の中に、ジェンダーフリーが論議されています。この点につきましての教育長のお考えと、実際伊豆市の教育現場ではどのように取り扱われておりますか。

長弁  
教育答

「ジェンダーフリー」の用語についてはさまざま

な解釈がありますが、伊豆市では特に学校現場に特別な指示は出しておりません。ただ男女平等教育はすべての学校で行われています。今後とも「男らしさ」「女らしさ」という性差を否定することなく、性別による分け隔てをしない教育、自分の持っている力を発揮できるような教育活動を進めていくよう学校現場を指導していきたいと考えています。

質問

支所において旧町から  
の問題を理解していない。  
また各支所と各部との連携が取れていない。職務の範囲も明確でない。

適正人員の見直し、適材適所への配置など、再編をどう考えているか。

長弁  
市答

総体的には大きな混乱は無く、伊豆市に移行してきたと思いますが、種々の問題、課題もあり、組織や配置の見直しを図るべく、内部に「庁舎検討委員会」を立ち上げたところです。数年を目標に、本庁舎方式を目指し、全体組織の見直し、部署及び支所の効率的な配置を考えています。

## グリーン・ツーリズムの促進

質問

新たに「伊豆市グリーン・ツーリズム連絡会」を立ち上げ、事務局を民間団体に移行した。

受入体制、インストラクター、報酬等、事業として成立させるためには種々な問題がある。

## 行政の効率化

山下 一 議員



グリーン・ツーリズムに対する考えは。

**長弁 市答** 旧中伊豆町で積極的に実施されてきましたが、

今年度は伊豆市全体に浸透させていきたいと考えています。

今後は農林業体験を柱として、漁業なども加えた形で推進したいと考えていますが、長く続けていく上で、受入態勢やメニューの整備、適正な体験料金設定、交流の方法等お互いが満足できるように体制の構築が必要であると考えています。ウエルネスとも連携した中で伊豆市型のツーリズムを構築していければと考えています。



森林ボランティア体験をする子どもたち

関 邦夫 議員

### 地域審議会に代わる 審議会について

**質問**

地域審議会は必要とする地域に設立できるといふ法律を見合わせた。長い間慣習等でお互いの領分を理解しあっていたものが、一方的事務処理では争いの元になるのではないか。

期間を定め、地域の識者による建設的な審議会を設立する必要があると思うが、伺います。

**長弁 市答**

10月末まで旧町の議員さんが市議会議員として在職しており、支所機能も充実させているため住民の声が行政に届きにくいようなことはないと考えており、自治法に基づく審議会等の設置はしません。

在任特例期間終了後の状況を見ながら、必要により市長の諮問機関的な組織の設置を検討します。

### 再合併について

**質問**

伊豆市、伊豆の国市と似たような名前の小さな市が誕生するが、再合併を見据えて進むか、そのまま進むか、時の流れに任せるか。その時にならないければわからないというのでは、住民は暫定的な気がして困惑する。財政の規模による力の差は歴然とし、再合併は避けられないのではないか。伺います。

**長弁 市答**

伊豆市が誕生してようやく5カ月。現在新市の建設計画にのっとり、新しい街づくりに取り組み始めたばかりです。今後、急激な世相変化が生じた場合は状況も変わってくることも考えられますが、今のところ、再合併の考えはもっていません。

### 交通問題について

**質問**

合併を機に、土肥方面から湯ヶ島方面に長区間のトンネルによる時間短縮計画は出来ないか。速度制限のある限り、

直線による距離短縮しか解決方法はない。身近な道路問題としては、長い間幾度も要望に応えられないでいる、消防車、マイクロボス等の入れない所を安全の観点から財政力で解決できないか。

**長弁 市答**

平成元年から進めてきたこの地区の国道136号線整備が、まもなく達成されようとしている現在、新たなトンネル計画はいかがなものか。現段階では、少なからず無理があるのではないかと思う。

市道の整備に関しては、安全と安心を柱にして、生活関連道路の危険排除を優先的に心掛け、関係者の理解を得て積極的に進めていきたい。

塩谷 尚司 議員

### 合併特例事業について

**質問**

合併特例債を利用しての建設計画について、事業名、内容についてお聞かせください。

**長弁  
市答**

計画として、防災無線の統合事業や斎場建設事業、天城北道路アクセス道路建設事業、駅前周辺整備事業、基幹道路整備事業、海の玄関口整備事業など合併特例債の対象と考えられる事業があります。

平成16年度「天城北道路アクセス道路整備事業」で5,700万円の合併特例債を要望してあります。



天城北道路立野トンネル工事

**新庁舎建設について**

**質問**

庁舎建設検討委員会の進行状態についてお伺いします。建設について市長はどのような考えをもっておられるのかお伺いします。

**長弁  
市答**

庁舎内の職員レベルでの意見集約を図る検討会議を立ち上げました。今後部長会議等を経て行政側としての素案を作成し、議会や市民懇話会などの協議を経て合意形成を図るプロセスを考えています。

公約でも申し上げたとおり、議場1つをとってもバリアフリーとなっていない等々を考えると、特例債を使い、新庁舎を作りたいと考えています。

塩崎 浩治 議員

**市内高校（修善寺工業・土肥高）教育について**

**質問**

市内高校への市長、行政の支援協力、拘わり方を伺います。

**長弁  
市答**

行政の長としては法律に基づく規制があり、この中でできるものはやりますが、他の高校とも同調して行っていきたいと思います。後援会の件については、他の学校と同様な扱い、

**地域神社祭典(行事)に拘わる市の対応について**

**質問**

合併地域の神社祭典(行事)への拘わり方を伺います。

平等にしなればと思いますし、学校の教育方針についても県の教育委員会の結果を見てから態度を決めたいと思います。

**長弁  
市答**

神社等のお付き合いは法律の解釈につきまして公職選挙法199条の2において禁じられておりますので、一切において公的には出来ないと思っています。

小出 逸治 議員

**温泉の不当表示、偽装表示問題と実態調査について**

**質問**

県内でも不当表示、偽装表示の実態が明らかになっております。県でも独自の調査を開始しているようですが、当市でも早急に実態調査すべきと思いますが、市長の所見を伺います。

**長弁  
市答**

現在観光協会、旅館組合を通じて調査を実施しているところです。

**中伊豆バイパスおよび伊豆スカイライン無料化について**

**質問**

東の玄関口中伊豆バイパス、伊豆スカイライン

の二道路が有料として残っています。二道路の無料化により当市への流入人口及び経済交流の増大が予想され、伊豆市・伊豆半島全体の活性化になると思います。無料化に向けて県に陳情していただきたいと思いますが、市長の所見を伺います。

**長弁  
市答**

道路整備は市域を越え、幅広い交流ネットワークの構築を目指すものです。そのため、従来から組織していた広域道路関係の同盟会を通じて、伊豆半島東西を結ぶ交流交通の促進に努めてきましたが、今後その流れを継承する中で、この問題に対応していくことが望ましいと考えています。



伊豆スカイライン冷川料金所

## 地域交流拡大構想と 市の対応について

質問

2007年春の静岡空港開港を控えて、県も誘客対策に取り組んでいると思いますが、国際観光交流時代に備えて、観光地伊豆市として受け入れ態勢に万全を期する時と思えますが、市長の所見を伺います。

長弁  
市答

海外からの観光客の受け入れは、観光地として生き残るための重要なポイントになるうかと思えます。昨年温泉のまちづくりフォーラムを実施した際、観光地における外国語表示、

案内が少ないという指摘を受けており、観光案内板、説明板等の整備を図るとともに、外国人に優しい観光地づくりを進めてまいりたいと思えます。

飯田 正志 議員

## 市所有の土地や建物の 有効利用について

質問

現在市の所有する土地や建物について、地域の活性化や、固定資産税の増収にもかわることでありますので、どのように有効利用されるつもりなのか。

長弁  
市答

宅地10万5千㎡、山林4,550㎡ほど、農地約1,275㎡、原野雑種地約1,240㎡あります。面積にすると膨大なものとなり、維持管理費も相当かかるため、市にとってその保有が有益なものとしてでないものとの区分をし、処分できるものは処分すべきと考えます。

## 無人家屋や不在地主の 土地の管理について

質問

現在、過疎化が進み、無人家屋や不在地主が増えていると言われていますが、その管理について、市の対応はどのように考えているのか。

長弁  
市答

市として県下で2番目の面積を有し、非常に広範囲に渡っているため、また、別荘地も多く特定が困難と思われれます。あくまでも個人の土地であり、隣地同士の話し合いが重要と考えておりますが、具体的に迷惑をしている等で相談があれば行政相談日を設けてありますので実情に合わせて対応したい。

小野 忠宏 議員

## 財政安定化のために 合併特例債の活用を

質問

合併後の財政強化策として、①天城湯ヶ島、中伊豆地区への積極的な宅地造成、

②上和田、下畑間の現市道の拡幅整備、③修善寺道路、伊豆中央道の通勤者への通行料補助を提案したい。市長の所見は？

長弁  
市答

若者の定住化のための住環境の整備や、教育・育児などの環境を整えることや、沼津市、三島市への通勤環境の整備、あるいは新産業の誘致なども大変重要なことと思えます。

提案が3つ出ております。提案の③については、合併特例債事業としては難しいと判断しておりますが、検討すべき事業と思えます。

大川 孝 議員

## 伊豆市斎場建設について

質問

建設地の候補として市側は、市の中心部、景観、周辺地域への配慮等の中で、旧修善寺町「日向」地区南側を適地とし、8月3日に関係区長、地権者等の出席の中で、建設地候補、基本計画策定等の会議がありました。その後の進捗状況についてお伺いします。

**長弁** 本定例会に関連経費の補正予算を上程しました。

**市答** 補正予算成立後は関係地権者や周辺地域の方、また市議会に意見を伺うなどし、年度末までにこの建設基本計画等を策定すべく精力的に取り進む所存です。用地取得、造成等次年度より作業を進めてまいります。

杉本 喜作 議員

### 安心安全なまちづくり 防災対策は

**質問** 今年は台風の当たり年。新潟・福島では豪雨災害が発生した。

指定の避難所に濁流が来て行方不明↓避難所は安全か。

**長弁** 災害によって多少異なりますが、地区ごとに安全性の高い一時避難地を指定してあります。

**質問** 避難情報を知らず被災↓情報収集や、伝達の方法は。

**長弁** 被害情報は市民等からの通報により職員が収集するケースが多く、電話回線、同報無線等使用不能となった場合を想定し、日ごろから連携した情報伝達訓練を実施し災害に備える必要があります。

**市答** の通報により職員が収集するケースが多く、電話回線、同報無線等使用不能となった場合を想定し、日ごろから連携した情報伝達訓練を実施し災害に備える必要があります。



台風 22 号により農協狩野支店裏山の崩落

**質問** 高齢者や要援護者が被災↓災害弱者への対応は。

**長弁** 災害弱者への対応は、リスト作成は市では可能であるが、地区への提供は個人情報保護上難しく、日ごろから実情の把握とコミュニケーションに努めてもらうようお願いしたい。

**質問** 避難勧告の発令基準の明確化（数値化）をするのか。

**長弁** 狩野川の水位による勧告、指示の発表基準は国土交通省により規定されていますが、気象情報の発令基準等を参考に市の避難勧告、避難指示発令基準を明確化していきたいです。数値だけの判断は危険なので、実情を把握し地元住民と意見交換を行い決めたいと思います。

古見 梅子 議員

### 幼稚園における 延長保育について

**質問** 遊び友達がいって、遊び場がある幼稚園です。少

子化が急激に進んでいる今、幼稚園の果たす役割は大きい。合併前、旧天城湯ヶ島の幼稚園で実施されていた延長保育は、子育て支援の先駆けであり、地域の実情にあった取り組みであります。幼稚園の延長保育を子育て支援として継続できないか伺います。

**長弁** 現在伊豆市では、午後2時までの5時間を統一した教育時間としていますが、やむを得ない事情がある場合は、預かり保育という形で処理させてもなっています。

今後先生方とも検討はしていきたい。



湯ヶ島幼稚園

### 子育て支援センターの 有効利用について

**質問** 悩み相談に訪れる人は

なくとも、子育てに不安や悩みを持つ親は多い。初めて親となり、自信を持って育児ができる人は少ない。親同士が気軽に交流し、話し合う場の提供は子育て

支援としても重要である。学童保育の場としてだけでなく、親子の交流の場として有効利用することができないか伺います。

**長弁** 午前中開放して自由に利用するには、放課後児童クラブの備品等管理の問題もあり、開放していませんが、事前に申請があれば利用できます。

子育ての悩み相談や出会いの場としては、天城保健福祉センターにおいて、毎週月曜日に「このびのびクラブ」を実施しており、月2回は保育士による子育て相談を実施しています。

今後、活用については委員会等で検討していきたい。

磯 晴雄 議員

### ゴミ処理施設の早期方針を

**質問** 既に「2市3町で進めている広域焼却計画」

は解散されたようなので、早期に伊豆市独自の計画を進めるべきと考えます。

現在柏久保の施設は限度一杯のフル稼働と聞いています。このことから考えても、早期に検討が必要かと考えます。

**長弁** 新設整備ができるまで、施設の維持補修・改良工事を施工し施設の延命を図りたい。

新設整備については当市における最良でまた早期整備が可能な計画の位置付け等について、検討・協議を行ってまいります。



老朽化の進む清掃センター

### 中豆斎場の早期の改築を

**質問** 6月定例会にて市長は「早期に市の中心辺に合

併特例債を活用した新たな火葬場を考えている」との答弁がありました。既存の施設の老朽化が激しく、早期に改築が必要と考えます。また、確保済みの用地の関係もあることから、現在地での施設の改築が出来ないか伺いたします。

**長弁** 概ね市の中心地であり、地区南側」を建設候補地と選定し、斎場を建設すべく、本年度この基本計画の策定等に取り組んでいきたいと考えていますので、現在の中豆斎場の改修・改築等で市の斎場を整備する考えはありません。

酒井 勲一 議員

### 天城地域新エネルギーアクションプランについて

**質問** 県では伊豆地域をモデルに、自立型エネルギー

地域エコタウンの形成を目指した新事業を立ち上げたようですが、市長は環境問題を機会ある毎に訴えていると感じておりますが、環

境問題に憧憬の深い大城市長はこの問題にどのように対応なされるのか伺いたい。

**長弁** 現在、県では伊豆地域・天城地域の新エネルギー

導入可能調査を実施するための業者を検討中で、業者が決定次第、新エネルギーシステムの選定や、設置場所、事業規模、事業費等々を調査していくとのこと。

環境にやさしい、新エネルギーの利活用を身近なところから伊豆市でも検討・実施していくことも、今後自然を生かした観光振興や自然との調和・共存を図ることができ、重要な事業と認識しています。

### 職員が安心して仕事ができる職場環境作りについて

**質問** 職員も職場環境が変わり大変なことは推察しま

す。安心して仕事ができるように、職場環境を整えることも私共の仕事ではないかと思っております。次の3件について条例等の制定はお考えでしょうか。

● 不当要求行為などの防止

●一定の公職等にある者からの提言等の対応

●職員が内部告発した場合、不利益を受けないための対応

**長弁** 「伊豆市不当行為等の防止に関する要綱」を定め、委員会を設置してあり、未然に防止するとともに、万一発生した場合には直ちに必要な措置を講じる体制を整えているところです。

**市答** 職員からの提言については、内容により部長会等に諮り協議し、対処するようにしています。

行政の信頼性を高める手段として、内部告発制度が必要なものと思います。その対応についてのガイドラインの作成や告発した職員のプライバシーの保護の整備をし、職員が安心して通報できるように、また、通報しやすい環境を今後検討して行かなければならないと思います。

木村 建一 議員

サービスが低く、負担が高くなっても問題ないか

**質問** 前は、国税の調整について質問したが、今回は個々の調整項目ではない。合併の基本原則が「一般的に」だから「サービスは高い方、負担は低い方」にならなくても問題はないと考えているのか。合併による公共料金の差は、国からどんな「財政支援があるから、負担軽減ができる」といったのか。

**長弁** 伊豆市といたしまして、住民サービスの向上に努力しております。しかし、変動する社会情勢や特別な事情でやむを得ない場合には、被保険者の負担内容について十分にご説明をし、ご理解をいただきながら、国保事業を維持していきたいと考えております。

**市答** も、全く同様な状況の中で、住民サービスの向上に努力しております。しかし、変動する社会情勢や特別な事情でやむを得ない場合には、被保険者の負担内容について十分にご説明をし、ご理解をいただきながら、国保事業を維持していきたいと考えております。

国保会計は順調！  
でも、なぜ値上げ

**質問** 今年度の国保会計は順調といえながら、来年は国保税値上げしたいという答弁はわからない。5カ月の医療費だけ

赤字というのは早すぎる。値上げすれば、払えなくなる人が増えて税が不足し、また値上げになる。収入、支出のなを見て「危機的状況」「赤字になる」と判断したのか。

**長弁** 平成16年度の国保会計は、現在まで順調に運営されておりますが、本算定以後の次年度の伸び等を考えながら、不況による低所得者の増加と、税収の伸び悩み、被保険者の高齢化と医療費制度改正等という厳しい現実により判断いたしました。

**市答** 中伊豆・天城消防支署 廃止で安全が保てるか

常設消防、中伊豆支署と天城支署がなくなれば、消防車の到着時間が遅くなる地域が出る。修善寺に統合されても、安全、安心は現在の状態を確保できると考えているか。

**質問** 広大な山林を有する地域を抱え、今まで以上の防災・災害の意識向上を啓蒙する

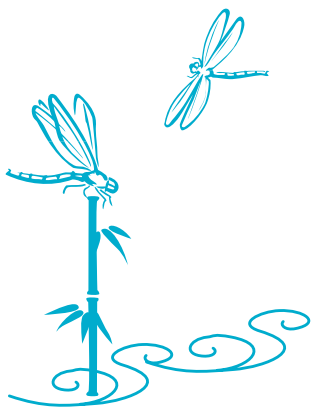
必要があります。地域を守る組織として、消防団の役割もこれまで以上に大切になり、自主防災等の連携強化も必要となります。常日頃の心構えと備え、対策を立て、安全安心な地域作りを心掛けたい。

乳幼児検診と離乳食講習会の体制について

館林 義人 議員

**質問** 合併するまでは住民へのサービスは低下させないと言っていました。乳幼児健診と離乳食講習と一緒にするため、人数が多く時間がかかり、駐車場もいっぱい、大変だったと聞き

必要があります。地域を守る組織として、消防団の役割もこれまで以上に大切になり、自主防災等の連携強化も必要となります。常日頃の心構えと備え、対策を立て、安全安心な地域作りを心掛けたい。



ました。旧四町で実施するか、健診講習が安心して受けられるように、健診スタッフを増やして欲しい。

**長弁** 3地区ごとの実施と比べ対象者が多くなるので、

多少所要時間が増えることや、駐車場が混雑しご迷惑をおかけすることもありますが、子育てに関する保護者の貴重な情報交換の場としての希望も多く、3地区ごとでの実施は考えておりません。土肥地区については地理的条件に配慮し、土肥支所にて実施しています。

小川 一弥 議員

### 市内地場産品の市内流通を進める体制を

**質問**

伊豆市は、ワサビ・しいたけを始め、海の幸・山の幸に恵まれた自然の豊かな観光の市であります。

合併したメリットと言えるこの多彩な農林水産物を生かすように、

市内の生産者団体、観光団体、旅館団体や各種の業者や個人が一同に会し、話し合う場を市が作り、産業の活性化を図っていく気はないか。



農産物無人販売所（中伊豆地区）

**長弁**

地域で採れたものがまず地域の人たちに愛され、消費されていくことが必要であります。農林水産業と観光の連携は、今後の伊豆市にとっても重要なものと考えています。

直売所・朝市等による地産地消は、生産者と消費者が互いを理

解し成り立っているものであり、地域内の活性化にもつながります。関係機関と連携し、情報の提供や情報交換できる場づくりなどの支援をしていきたい。

### 小中学校の遠距離通学費補助基準の統一について

**質問**

遠距離通学費補助制度については合併後1年以内に統一することになっている。サービスは高い方、負担は低い方に合わせるといふ合併の基本原則によって調整されるのか。

**長弁**

今でも多額の補助をしている現状ですので、旧四町の中の一歩高い方に統一するのは大変難しいと考えます。

町の規定により通学補助を支給されている子が、学校の規定ではバス通学ができないため一度もバスを利用しない等の場合もあり、果たして一番高い方にそろえるのがいいかという問題も生じてきます。



台風22号により伊豆市も甚大な被害を受けました。  
被災された方々にお見舞い申し上げます。

伊豆市議会議員一同

# 常任委員会の行政視察

各常任委員会では、今後の伊豆市行政に反映するために先進地の視察を行いました。

## 観光経済委員会

- 日程…7月15～16日
- 場所…岐阜県美濃加茂市「日本昭和村」
- テーマ…魅力ある観光地とは

## 総務委員会

- 日程…8月24～25日
- 場所…岐阜県各務原市「北清掃センター」
- テーマ…施設の管理運営について

## 土木水道委員会

- 日程…8月23～24日
- 場所…岐阜県吉城郡上宝村  
「神通川水系砂防工事」
- テーマ…砂防の課題について

## 福祉文教委員会

- 日程…7月6～7日
- 場所…長野県栄村・長野県丸子町
- テーマ…高齢者の介護予防、健康づくりについて



写真左 石和議長  
右 片山議員

時代絵巻を思わせる祭り行列に古い町並み。伊豆の祭りとはひと味違う趣でした。

8月に供養祭を牧之郷で行いましたが、今回秋祭り（10月2～3日）に招かれ、議会を代表して2名が左大臣・右大臣役で参加しました。

牧之郷の地に眠る鎌倉幕府の重臣・加藤影廉公を神として祀る岐阜県岩村町と旧修善寺町は、平成2年に「ゆかりの郷」協定を結び交流してきました。



## 編集後記

特例法により旧四町の議員が4月から10月まで、市会議員となり活動してきました。

議員の皆様におかれましては、仮議場での議会で何かと不便でしたが、今後は改築された新議場となります。

初めての伊豆市議会議員選挙後は、55名から26名になりました。伊豆市建設に決意を新たにしていることでしょうか。辞められた方々に置かれましては、今まで同様に伊豆市のためにご協力をお願いいたします。

（副委員長 関 邦夫）

### 議会報編集特別委員会

委員長	山下 一
副委員長	関 邦夫
委員	酒井 勲一
委員	古見 梅子
委員	小野 忠宏
委員	大川 勘太郎
委員	杉本 喜作
委員	木村 建一